

令和7年度岡山県 獣害対策のための集落アンケート

集計結果概要

株式会社野生鳥獣対策連携センター

アンケートの目的

- 獣害の生息状況や被害状況、獣害対策の実施状況を把握し、今後の対策の基礎資料とする。

調査方法

- 原則、農林業センサス農業集落を対象
- 1集落に約1枚のアンケートを配布し、回収

ID

岡山県 獣害対策のための集落アンケート調査 (令和7(2025)年度)

記入者氏名 _____ 住所 岡山県 _____ 市・町・村 _____

記入例は別紙にあります (結果の分析に必要ですので、住所などの情報は別紙に記入してください。お名前を含めて、別紙に使用することはありません。)

集落での活動について	対象動物	集落での目撃頻度	動物の増減
集落で行っている活動 (複数選択可) <input type="checkbox"/> 道路の草刈り・集会所やお宮の草刈り・掃除 <input type="checkbox"/> 多面的機能支払交付金・中山間地域等直接支払交付金事業 <input type="checkbox"/> 集落営農	イノシシ <input type="checkbox"/> 1頭はいる <input type="checkbox"/> 別が(子連れ)がいる <input type="checkbox"/> いない (→右は記入不要)	<input type="checkbox"/> 見かけない <input type="checkbox"/> 季節的に見かけるときがある <input type="checkbox"/> 通年、月1回程度 <input type="checkbox"/> 通年、週1回程度 <input type="checkbox"/> 通年、ほぼ毎日	<input type="checkbox"/> 著しく増えた <input type="checkbox"/> 増加傾向 <input type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 減少傾向 <input type="checkbox"/> 著しく減った <input type="checkbox"/> 分からない
集落ぐるみでの獣害対策 <input type="checkbox"/> している 対策内容 (複数選択可) <input type="checkbox"/> 集落での話し合い (集落点検・環境診断など) <input type="checkbox"/> 集落警備の設置 <input type="checkbox"/> 集落で協力した捕獲 <input type="checkbox"/> 緩衝帯の整備 <input type="checkbox"/> していない 理由 (複数選択可) <input type="checkbox"/> 個人で実施しているから <input type="checkbox"/> 人手不足 <input type="checkbox"/> 高齢化 <input type="checkbox"/> 狩猟者がいない <input type="checkbox"/> その他 (自由記述)	ニホンジカ <input type="checkbox"/> 角あり(オス)がいる <input type="checkbox"/> 子連れがいる <input type="checkbox"/> いない (→右は記入不要)	<input type="checkbox"/> 見かけない <input type="checkbox"/> 季節的に見かけるときがある <input type="checkbox"/> 通年、月1回程度 <input type="checkbox"/> 通年、週1回程度 <input type="checkbox"/> 通年、ほぼ毎日	<input type="checkbox"/> 著しく増えた <input type="checkbox"/> 増加傾向 <input type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 減少傾向 <input type="checkbox"/> 著しく減った <input type="checkbox"/> 分からない
	ニホンザル <input type="checkbox"/> 1〜数頭のハナレザルがいる <input type="checkbox"/> 子連れの群れがいる <input type="checkbox"/> いない (→右は記入不要)	<input type="checkbox"/> 見かけない <input type="checkbox"/> 季節的に見かけるときがある <input type="checkbox"/> 通年、月1回程度 <input type="checkbox"/> 通年、週1回程度 <input type="checkbox"/> 通年、ほぼ毎日	<input type="checkbox"/> 著しく増えた <input type="checkbox"/> 増加傾向 <input type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 減少傾向 <input type="checkbox"/> 著しく減った <input type="checkbox"/> 分からない
	ヌートリア <input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない (→右は記入不要)	<input type="checkbox"/> 見かけない <input type="checkbox"/> 季節的に見かけるときがある <input type="checkbox"/> 通年、月1回程度 <input type="checkbox"/> 通年、週1回程度 <input type="checkbox"/> 通年、ほぼ毎日	<input type="checkbox"/> 著しく増えた <input type="checkbox"/> 増加傾向 <input type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 減少傾向 <input type="checkbox"/> 著しく減った <input type="checkbox"/> 分からない

裏面にも質問があります

対象動物	過去1年(令和6年秋~令和7年夏)の集落での農林業被害	被害の増減傾向	主な被害内容 (複数回答可)	過去1年(令和6年秋~令和7年夏)に実施した被害対策と効果 ※防護柵については、過去に設置したのも含む (複数回答可) ※誘引物とは、収穫をきらめた果物、野菜くず、生ごみなど
イノシシ	<input type="checkbox"/> まったくない <input type="checkbox"/> 軽微 <input type="checkbox"/> 大きい (生産量の30%未満) <input type="checkbox"/> 深刻 (生産量の30%以上)	(前年と比べて) <input type="checkbox"/> 著しく増えた <input type="checkbox"/> 増加傾向 <input type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 減少傾向 <input type="checkbox"/> 著しく減った	<input type="checkbox"/> 農作物被害 <input type="checkbox"/> 掘り起こし <input type="checkbox"/> 人身被害(含む威嚇) <input type="checkbox"/> 交通事故 <input type="checkbox"/> その他 ()	<input type="checkbox"/> 何もなかった <input type="checkbox"/> 捕獲 (→効果: <input type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかった <input type="checkbox"/> 不明) <input type="checkbox"/> 電気柵 (→効果: <input type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかった <input type="checkbox"/> 不明) <input type="checkbox"/> 金網柵・ワイヤメッシュ柵 (→効果: <input type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかった <input type="checkbox"/> 不明) <input type="checkbox"/> 耕作放棄地などの管理・誘引物除去 (→効果: <input type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかった <input type="checkbox"/> 不明)
ニホンジカ	<input type="checkbox"/> まったくない <input type="checkbox"/> 軽微 <input type="checkbox"/> 大きい (生産量の30%未満) <input type="checkbox"/> 深刻 (生産量の30%以上)	(前年と比べて) <input type="checkbox"/> 著しく増えた <input type="checkbox"/> 増加傾向 <input type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 減少傾向 <input type="checkbox"/> 著しく減った	<input type="checkbox"/> 農作物被害 <input type="checkbox"/> 庭木等の食害 <input type="checkbox"/> 糞害 <input type="checkbox"/> 交通事故 <input type="checkbox"/> その他 ()	<input type="checkbox"/> 何もなかった <input type="checkbox"/> 捕獲 (→効果: <input type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかった <input type="checkbox"/> 不明) <input type="checkbox"/> 電気柵 (→効果: <input type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかった <input type="checkbox"/> 不明) <input type="checkbox"/> 金網柵・ワイヤメッシュ柵 (→効果: <input type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかった <input type="checkbox"/> 不明) <input type="checkbox"/> 耕作放棄地などの管理・誘引物除去 (→効果: <input type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかった <input type="checkbox"/> 不明)
ニホンザル	<input type="checkbox"/> まったくない <input type="checkbox"/> 軽微 <input type="checkbox"/> 大きい (生産量の30%未満) <input type="checkbox"/> 深刻 (生産量の30%以上)	(前年と比べて) <input type="checkbox"/> 著しく増えた <input type="checkbox"/> 増加傾向 <input type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 減少傾向 <input type="checkbox"/> 著しく減った	<input type="checkbox"/> 農作物被害 <input type="checkbox"/> 器物破損・持ち逃げ <input type="checkbox"/> 人身被害(含む威嚇) <input type="checkbox"/> 家屋・納屋への侵入 <input type="checkbox"/> その他 ()	<input type="checkbox"/> 何もなかった <input type="checkbox"/> 捕獲 (→効果: <input type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかった <input type="checkbox"/> 不明) <input type="checkbox"/> 防護柵 (→効果: <input type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかった <input type="checkbox"/> 不明) <input type="checkbox"/> 追い払い (→効果: <input type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかった <input type="checkbox"/> 不明) <input type="checkbox"/> 周辺の樹木の伐採・足場となる木材等の撤去 (→効果: <input type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかった <input type="checkbox"/> 不明) <input type="checkbox"/> 誘引物除去 (→効果: <input type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかった <input type="checkbox"/> 不明)
ヌートリア	<input type="checkbox"/> まったくない <input type="checkbox"/> 軽微 <input type="checkbox"/> 大きい (生産量の30%未満) <input type="checkbox"/> 深刻 (生産量の30%以上)	(前年と比べて) <input type="checkbox"/> 著しく増えた <input type="checkbox"/> 増加傾向 <input type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 減少傾向 <input type="checkbox"/> 著しく減った	<input type="checkbox"/> 農作物被害 <input type="checkbox"/> 畦畔(あぜ)の掘崩し <input type="checkbox"/> 糞害 <input type="checkbox"/> 交通事故 <input type="checkbox"/> その他 ()	<input type="checkbox"/> 何もなかった <input type="checkbox"/> 捕獲 (→効果: <input type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかった <input type="checkbox"/> 不明) <input type="checkbox"/> 電気柵 (→効果: <input type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかった <input type="checkbox"/> 不明) <input type="checkbox"/> 金網柵・ワイヤメッシュ柵 (→効果: <input type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかった <input type="checkbox"/> 不明) <input type="checkbox"/> 耕作放棄地などの管理・誘引物除去 (→効果: <input type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかった <input type="checkbox"/> 不明)

(お問い合わせ先 岡山県 農林水産部 農村振興課 鳥獣害対策室 電話086-226-7439)

配布先の決定

- アンケートの配布先は、原則、市町村担当者が決定した
- 配布先抽出のご要望があった12市町のうち、7市町に対しては、受託者が抽出した
 - ・ **備前市**
 - ・ **瀬戸内市**
 - ・ **赤磐市**
 - ・ **吉備中央町**
 - ・ **笠岡市**
 - ・ **井原市**
 - ・ **高梁市**
 - ・ **新見市**
 - ・ **矢掛町**
 - ・ **真庭市**
 - ・ **美作市**
 - ・ **鏡野町**
- その他の市町は、提供を受けた配布先候補数がセンサス農業集落数よりも少なかったあるいはわずかに多い程度であったため、全候補を配布先とした

アンケート回答者の選定

推奨される選定方法

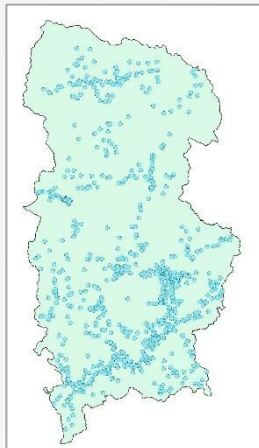
- 原則は、農業集落をベースとし、1農業集落に1回答者
- 対象者が農業集落数以上にいる場合は、予算的な制限がなければ、全員を対象とする
- 抽出する場合は、回答者は対象地域に一様に、均一に分散していること



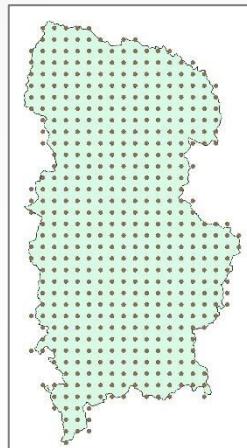
**抽出作業を市町担当者が手作業でされており、
労力が非常にかかった**

アンケート配布先の抽出方法

全候補地点



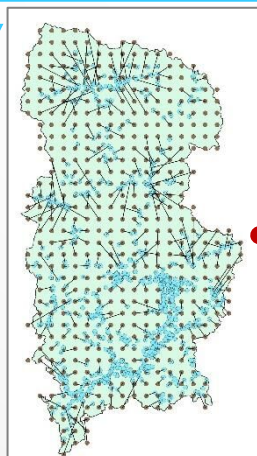
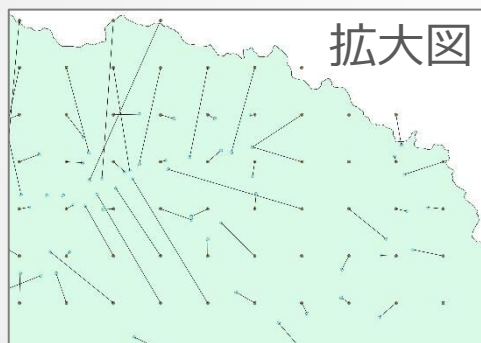
グリッド点



対象市町村の広さ、
抽出数に応じてグリッド
を設定
※真庭市の場合は約1.3km

グリッド点から最も近い
候補地点を抽出

拡大図



抽出図

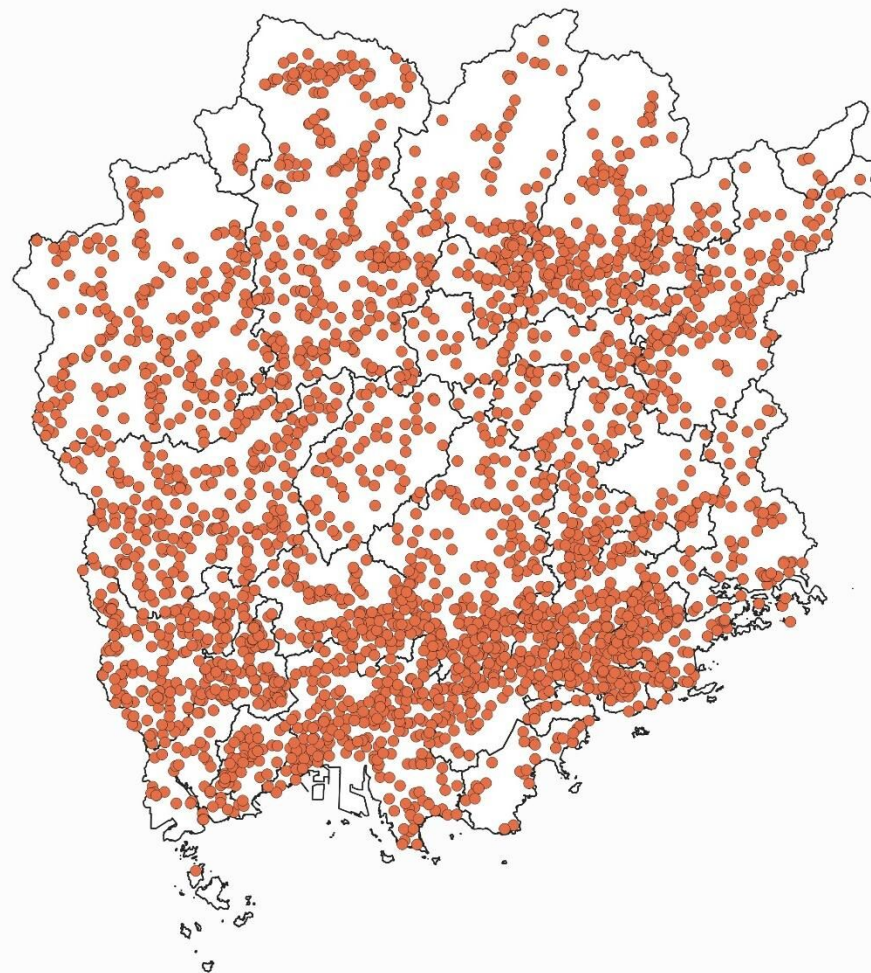
※イメージ図

実際には特に配布対象者が少ないエリアにおいて、
同じ候補地点が複数抽出されないように設定した

回収結果

- 配布数 4,375集落
- 有効回答数 2,994通
- 有効回答率 68.4%

※昨年度とほぼ同等の回答率

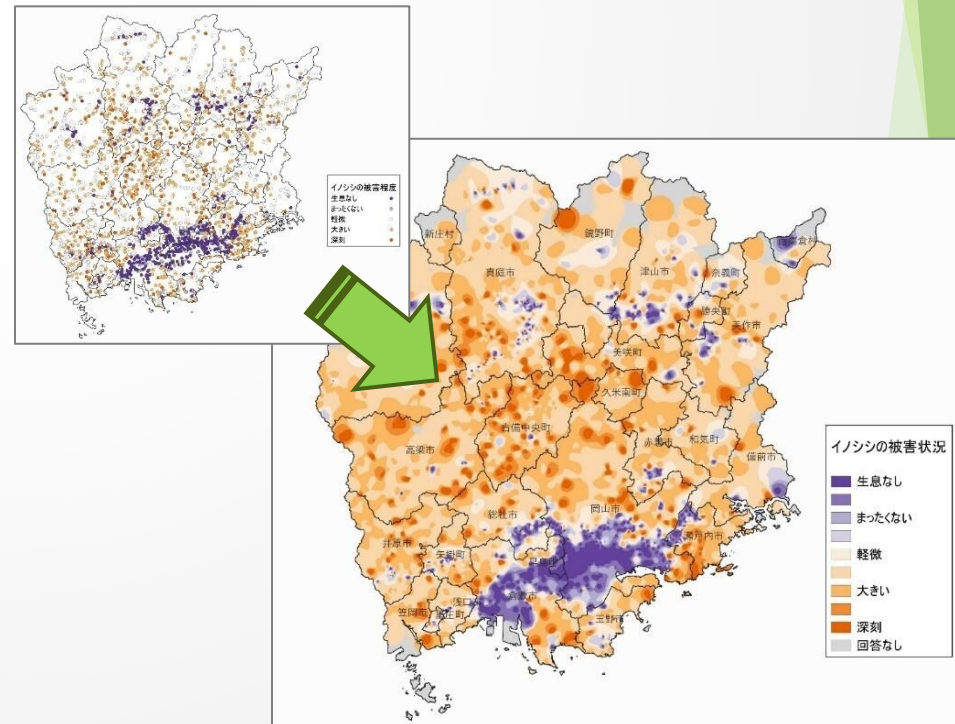


分析方法

- 複数の回答を得た集落があったため、集落単位ではなく、回答地点で分析
- 回答地点には、回答者の住所地の緯度経度を使用
- 状況を面的に評価するため、空間補間図を作成

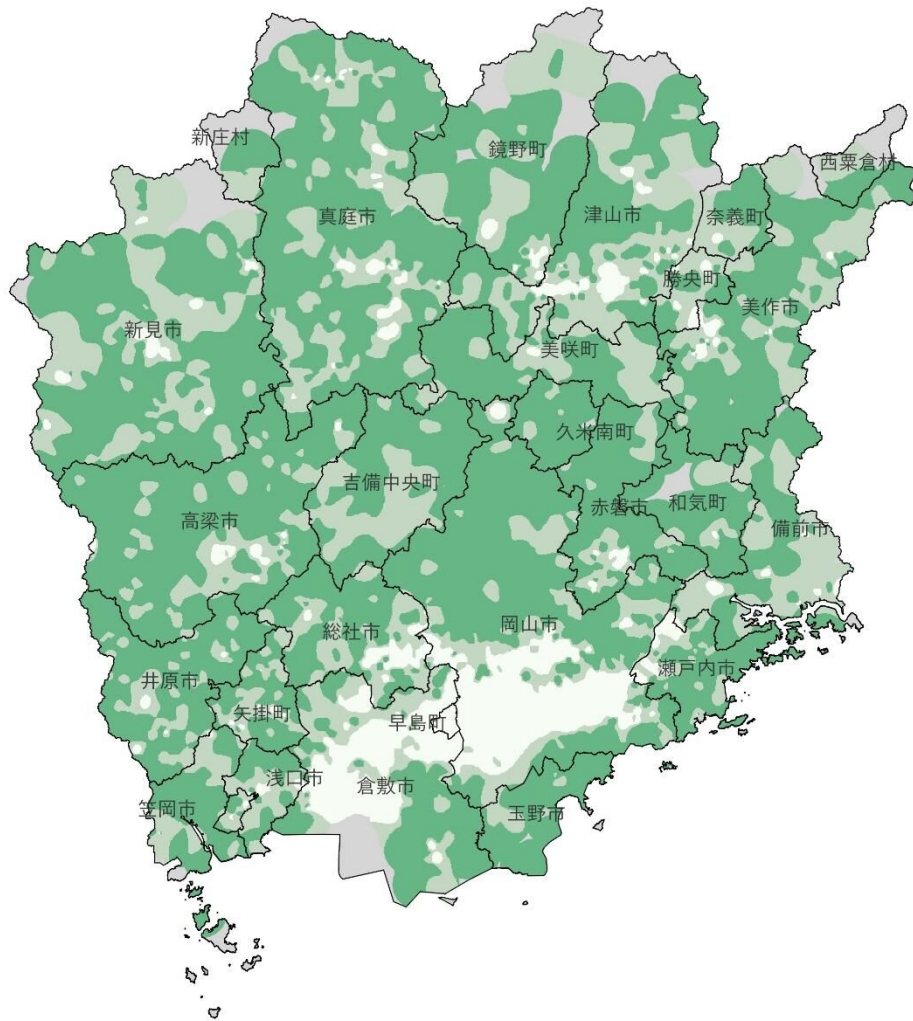
空間補間図

- ・ 回答地点以外のエリアの値を他の地点の回答情報をもとに推定
※今回は回答推定範囲を半径 2 km で設定
- ・ 回答は数値化して分析
【例】 いない : 0
全くない : 1
軽微 : 2
大きい : 3
深刻 : 4



イノシシ

イノシシの生息状況

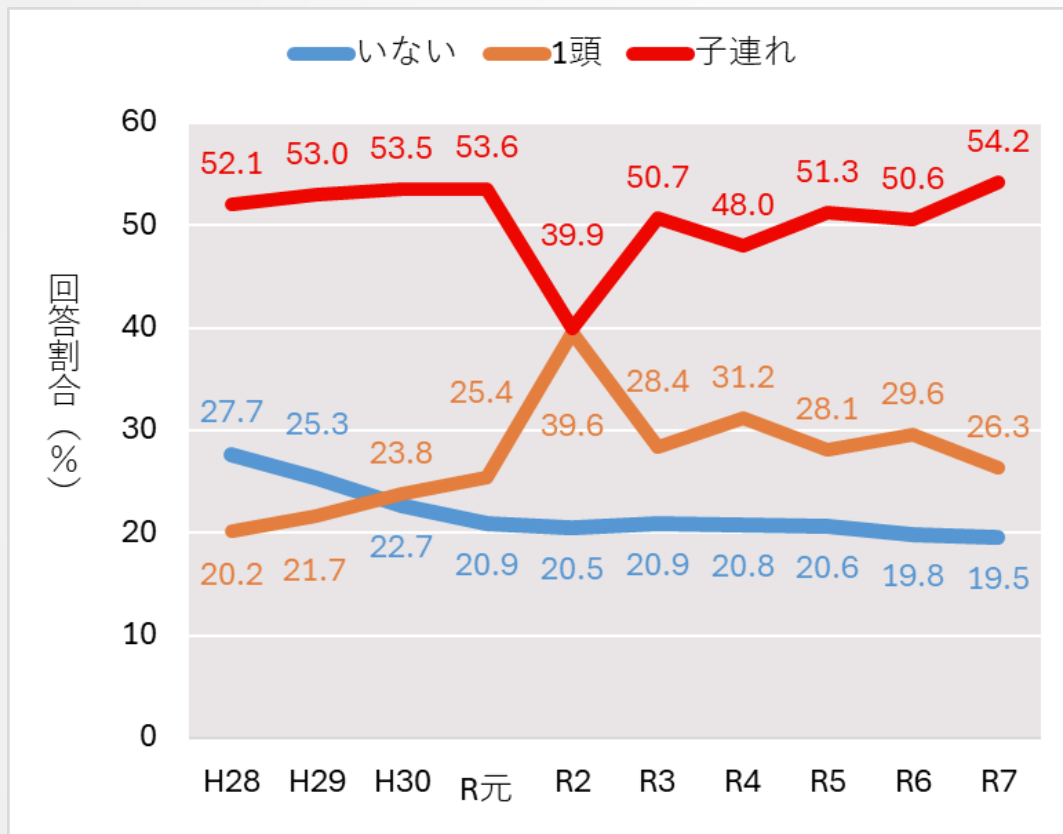


- 岡山平野、津山盆地の市街地を除いて、ほぼ全県に生息
- 生息が報告された地域の割合は76.5%(2,290/2,994件)

イノシシの生息状況

- いない
- 1頭はいる
- ウリボウ(子連れ)がいる
- 回答なし

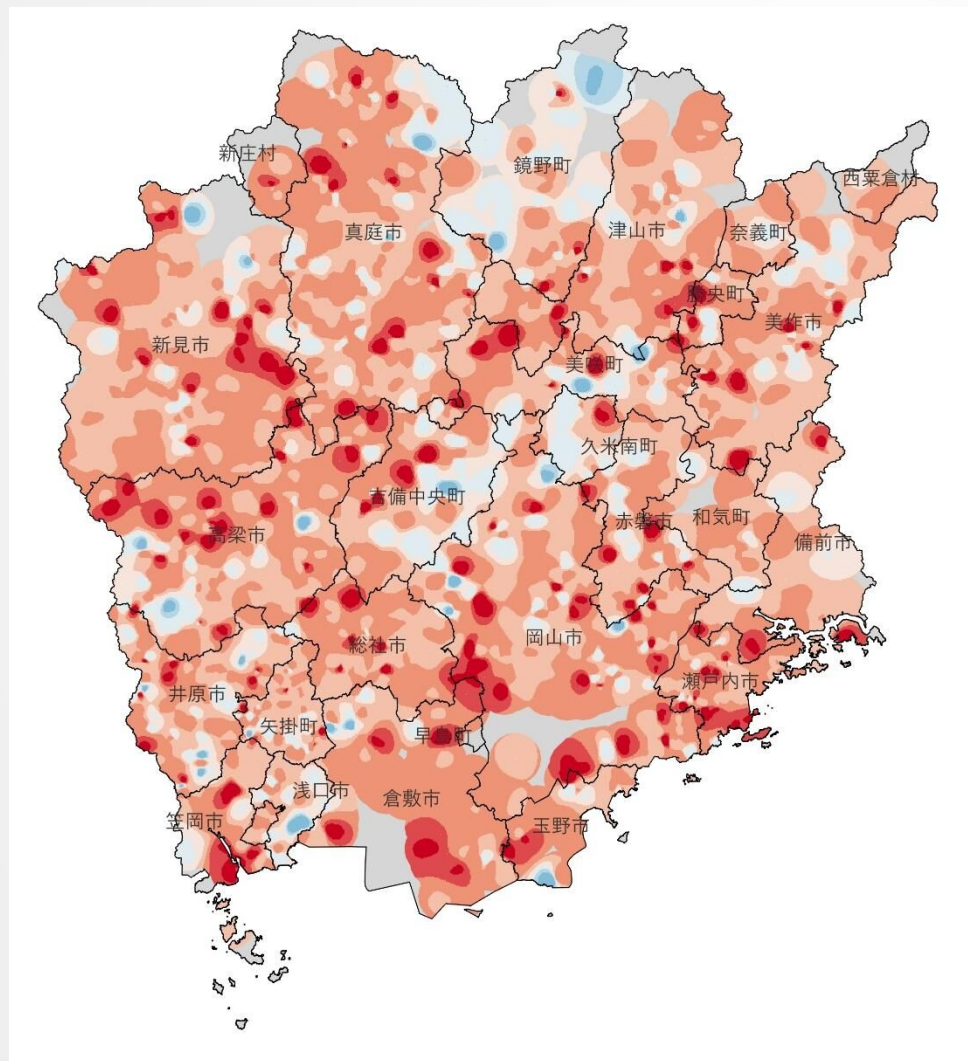
イノシシの生息状況 年推移



- 平成28年度以降の「子連れ」のイノシシが生息していると回答した割合は、令和2年度に4割程度を示したが、その他の年はおおよそ5割程度を示して推移

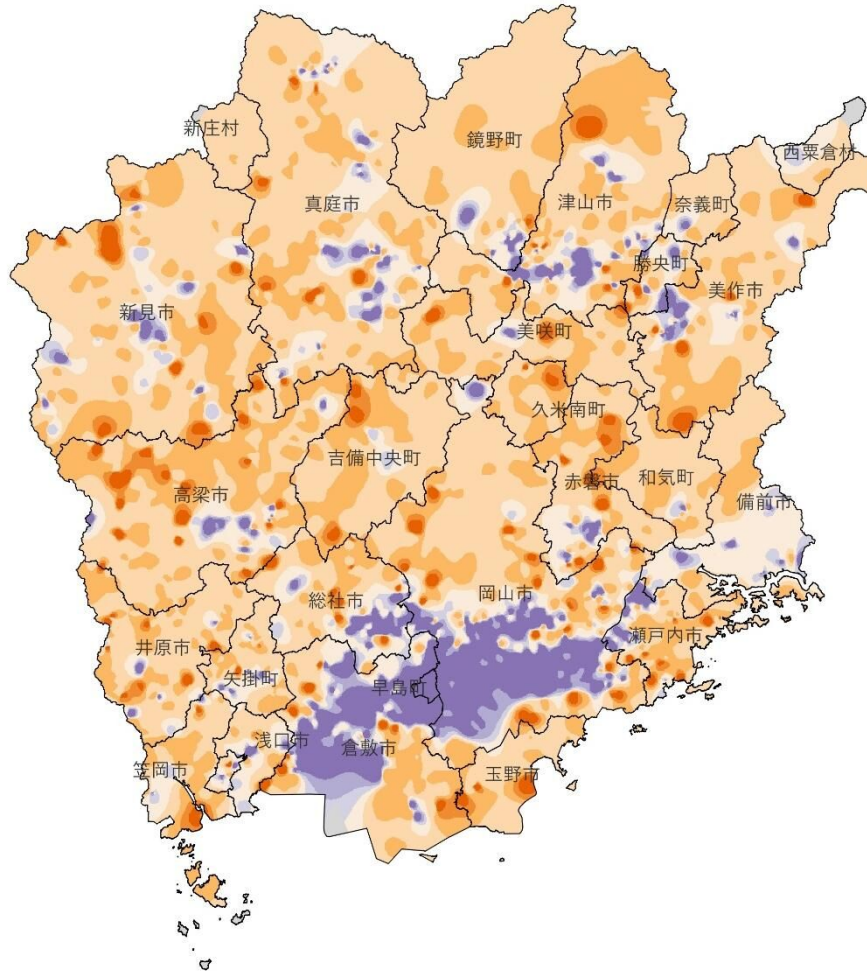
イノシシの生息数の増減

- 「変わらない」から「著しく増えた」の回答をほぼ全県で確認
- 「減少傾向」や「著しく減った」地域は非常に限定的であった

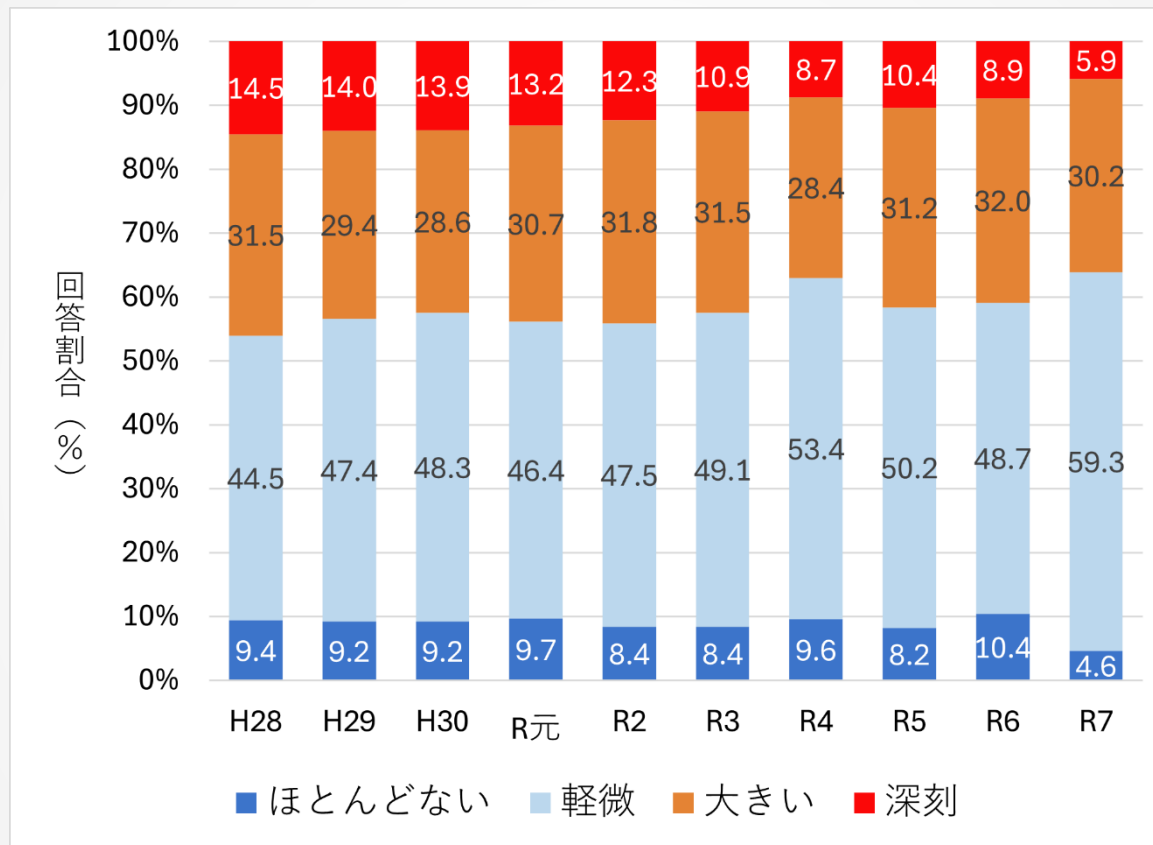


イノシシの被害レベル

- イノシシが生息していないと回答された地域を除き、ほぼ県全域で被害が発生
- 被害が甚大化（被害が「大きい」もしくは「深刻」と回答）している地域は、面的に偏りはなく、全県に散見

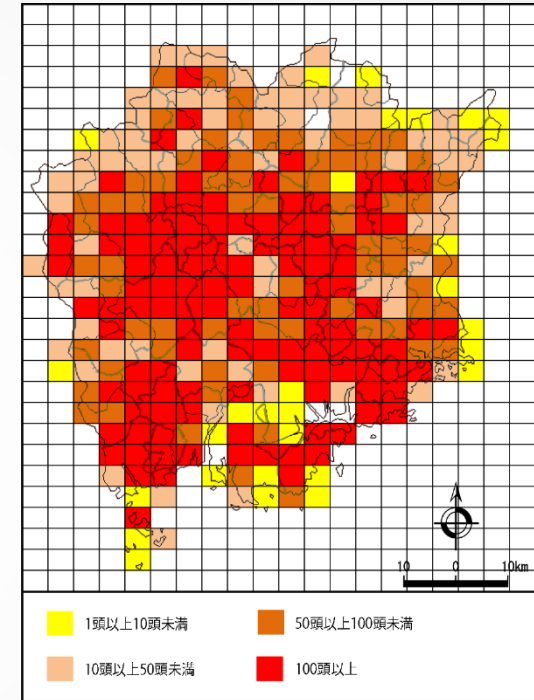
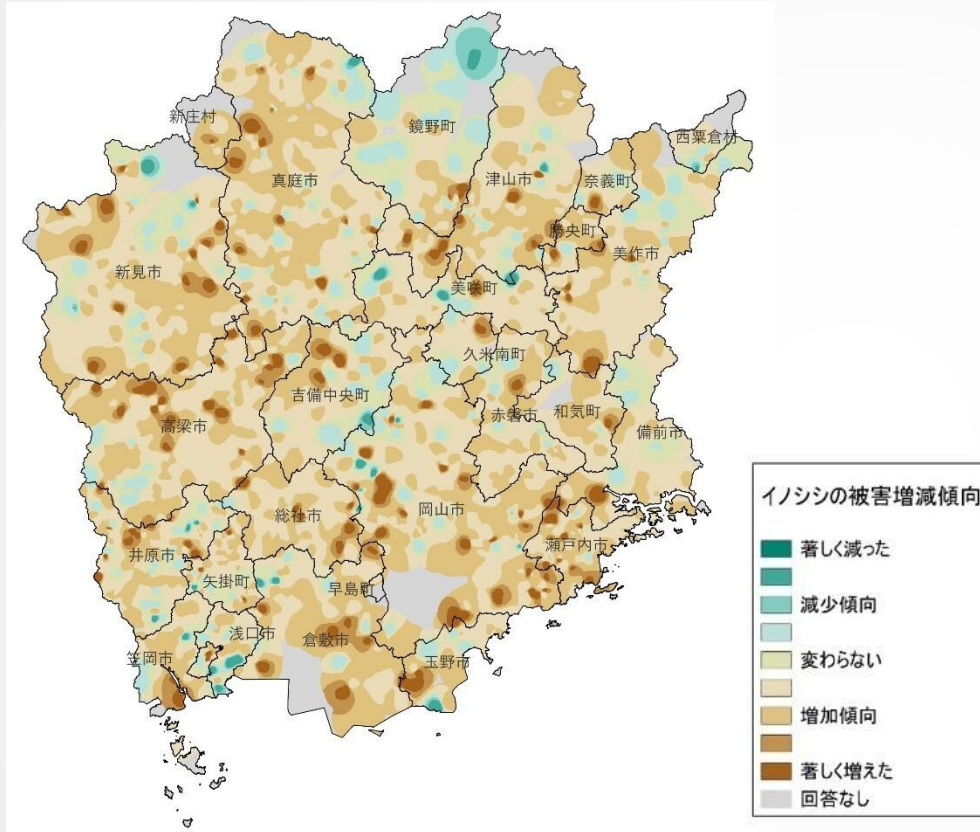


イノシシの被害レベル 年推移



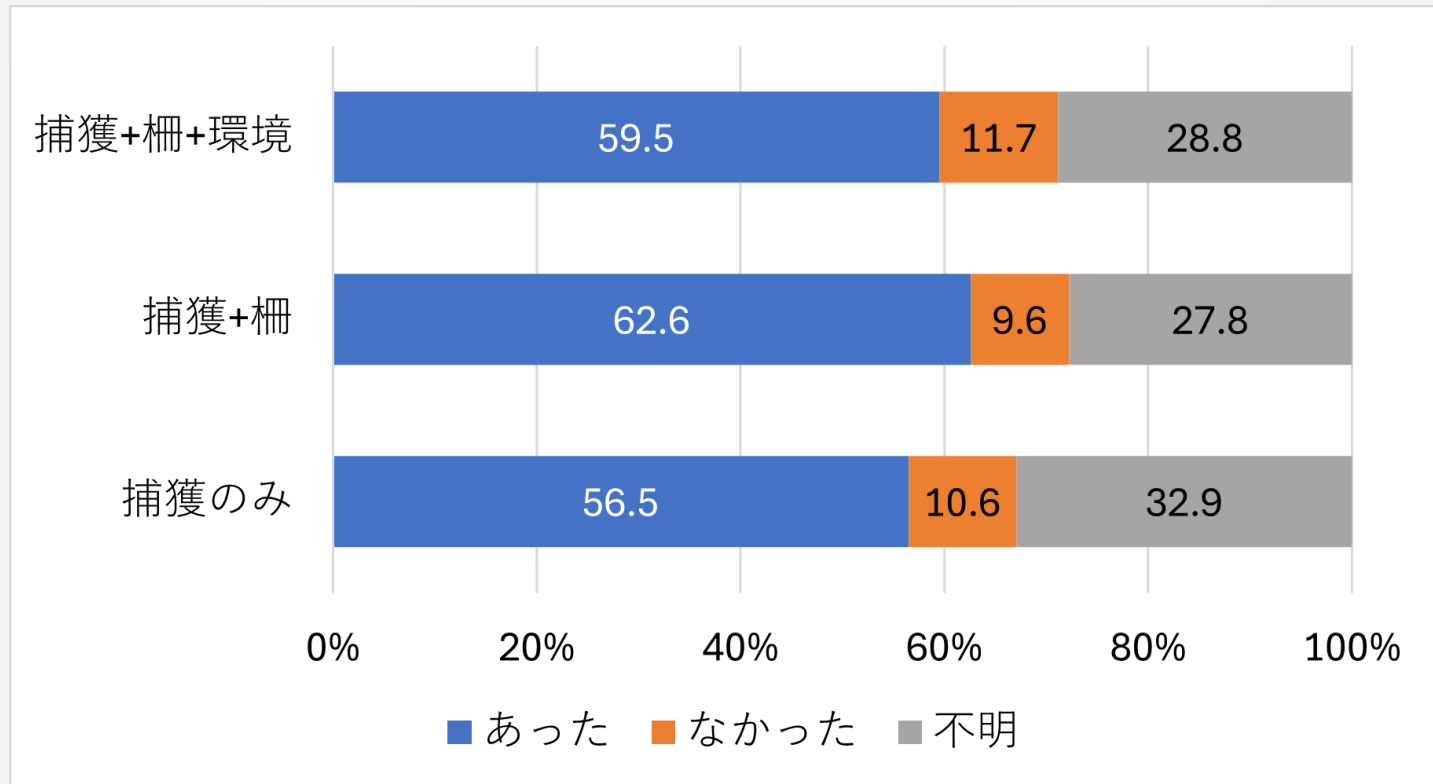
- イノシシによる被害が甚大な地域は、平成28年度以降は40%台で推移しているが、その割合は緩やかに減少傾向にあり、今年度は約36%となった。

イノシシによる被害の増減



- イノシシによる被害が「増加傾向」あるいは「著しく増えた」と回答した地域が全県に散見
- メッシュごとの捕獲数（R6）では、100頭以上のイノシシが捕獲されている地域でもその多くではイノシシの被害は減少には転じておらず、捕獲の強化が必要

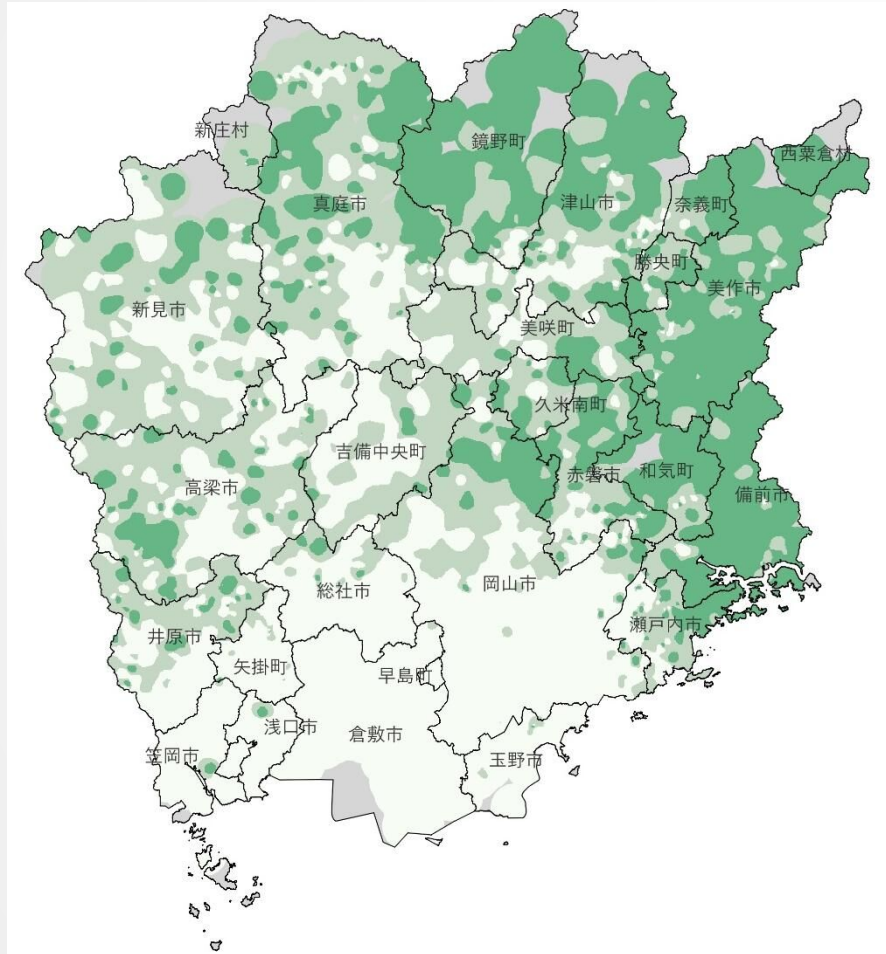
イノシシの対策の複合効果



- 捕獲とあわせて防護柵（電気柵や金網柵など）を実施している地域が、捕獲のみを実施している地域よりも、対策効果が有効と回答している割合がやや高い

ニホンジカ

シカの生息状況 数の増加

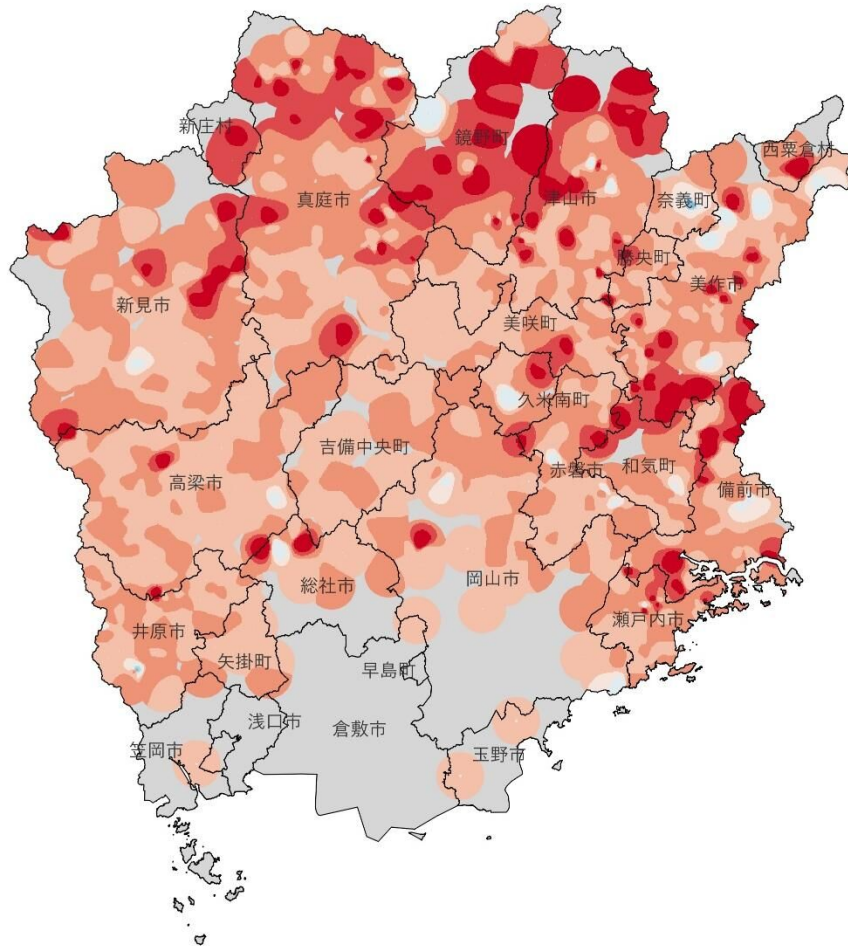


- 「角あり」のシカは県南部などを除き、県内に広く分布している
- 「子連れ」のシカが生息する地域は真庭市や岡山市より東部に広く確認

ニホンジカの生息状況

- いない
- 角あり(オス)がいる
- 子連れがいる
- 回答なし

シカの生息数の増減

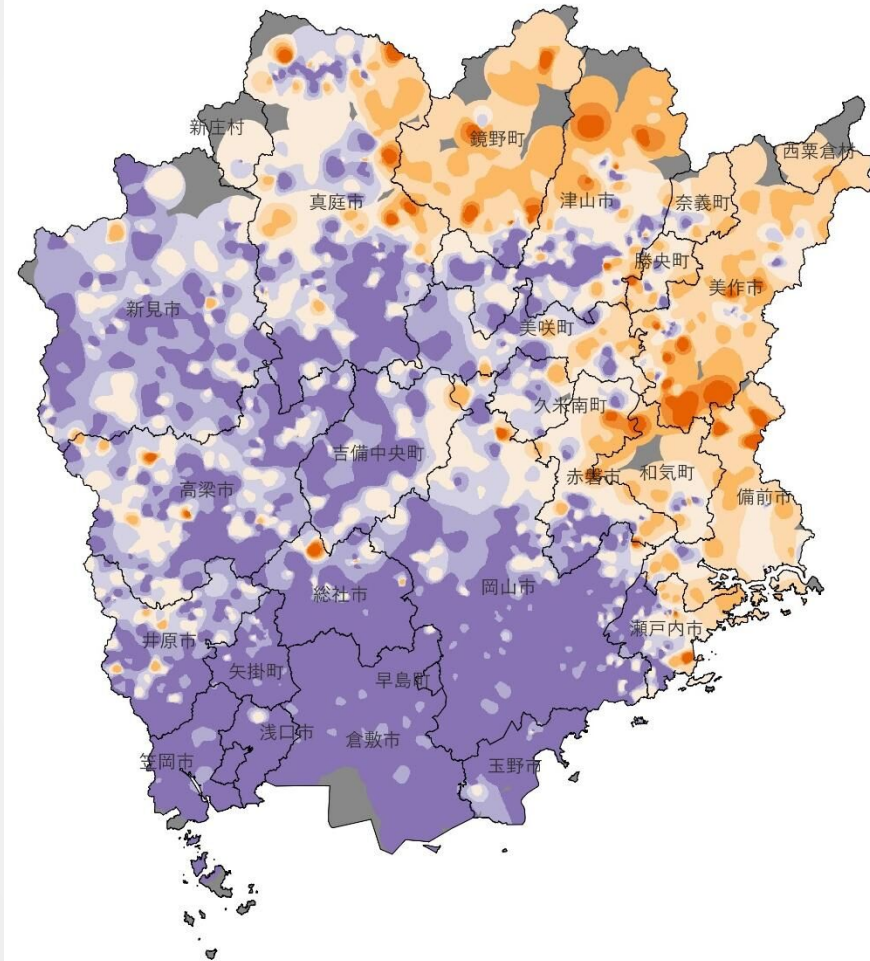


- シカの数が増加してきていると回答した地域は、県の南央から南西部を除き、広く確認
- 県内でのシカの生息が拡大していると評価される

ニホンジカの数の増減



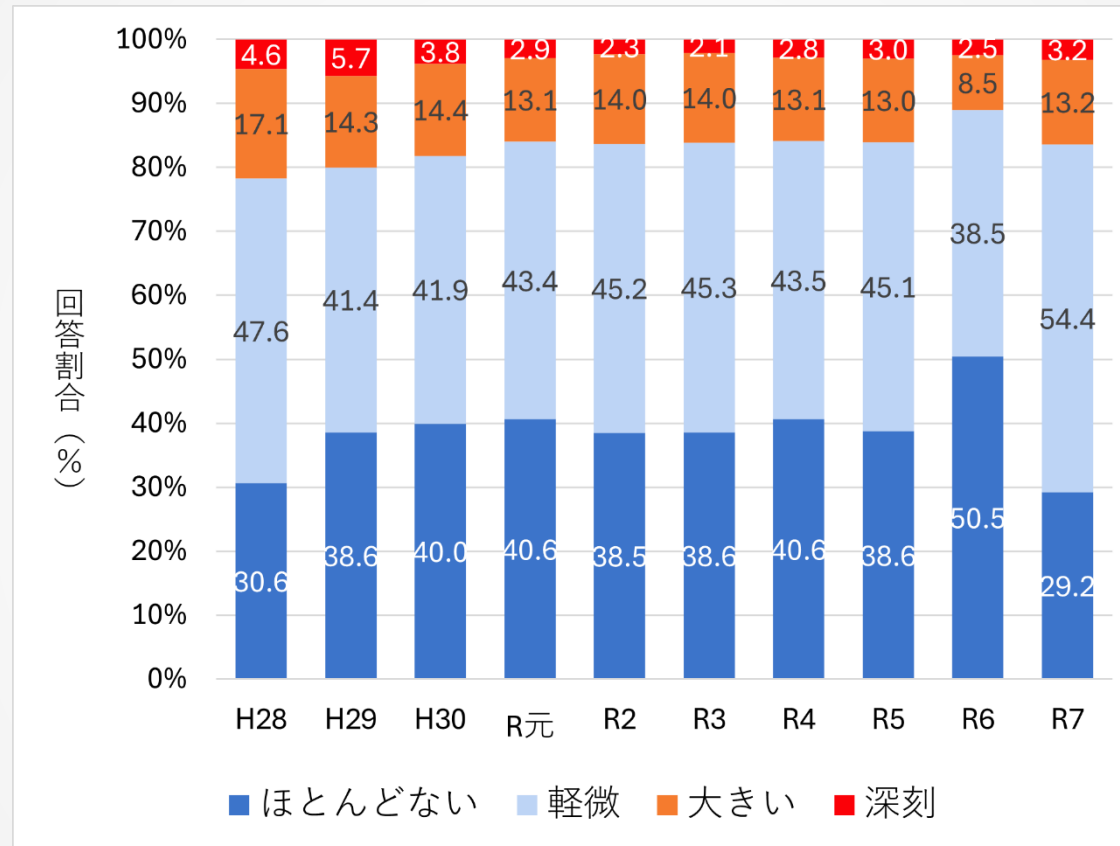
シカの被害状況



- 「子連れ」のシカが確認されている県東部では、被害が甚大化（被害が「大きい」もしくは「深刻」と回答）

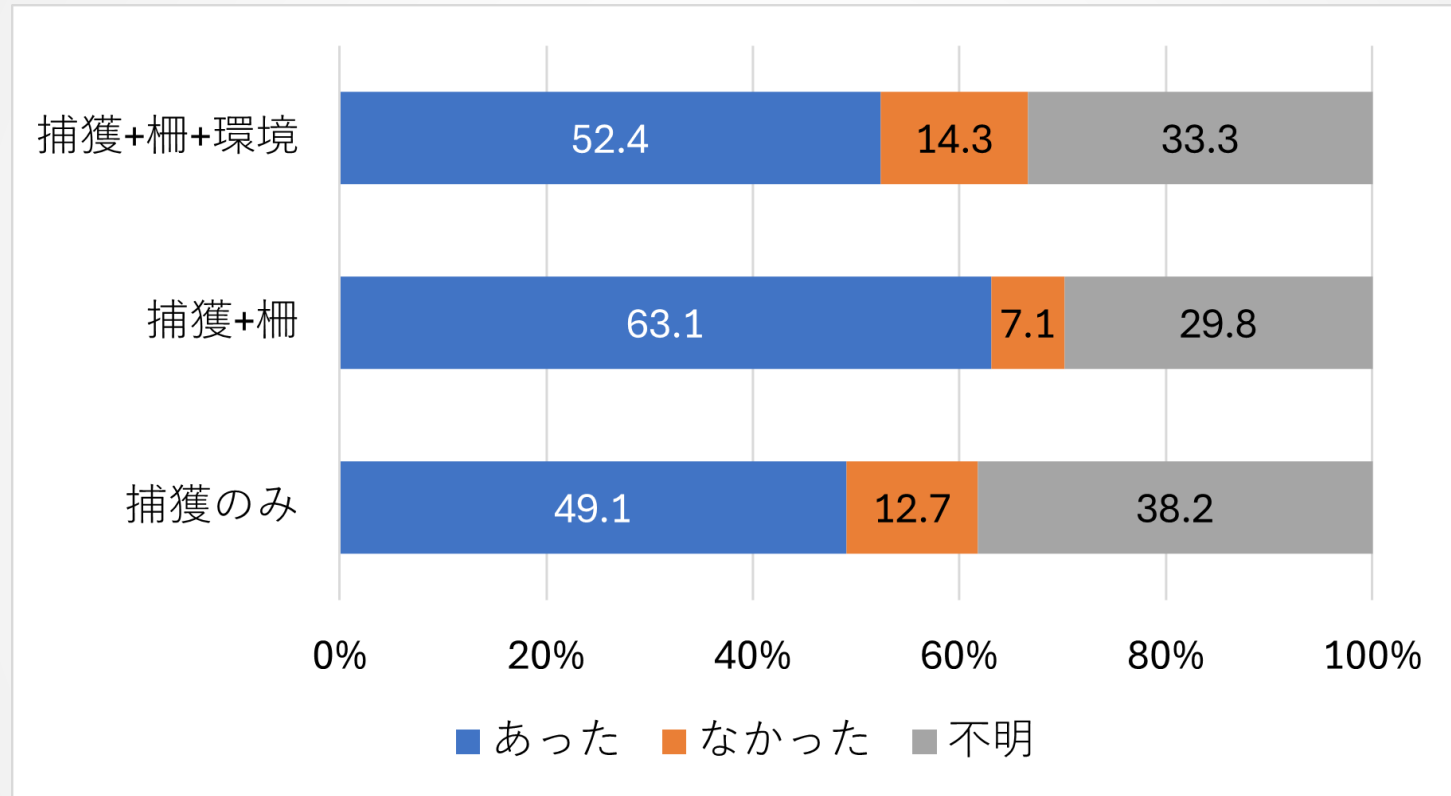


シカの被害状況 年推移



- 被害が甚大化したと回答した割合は、平成28年度以降減少傾向にあり、令和6年度はさらにやや減少したが、今年度は令和5年度程度まで増加した

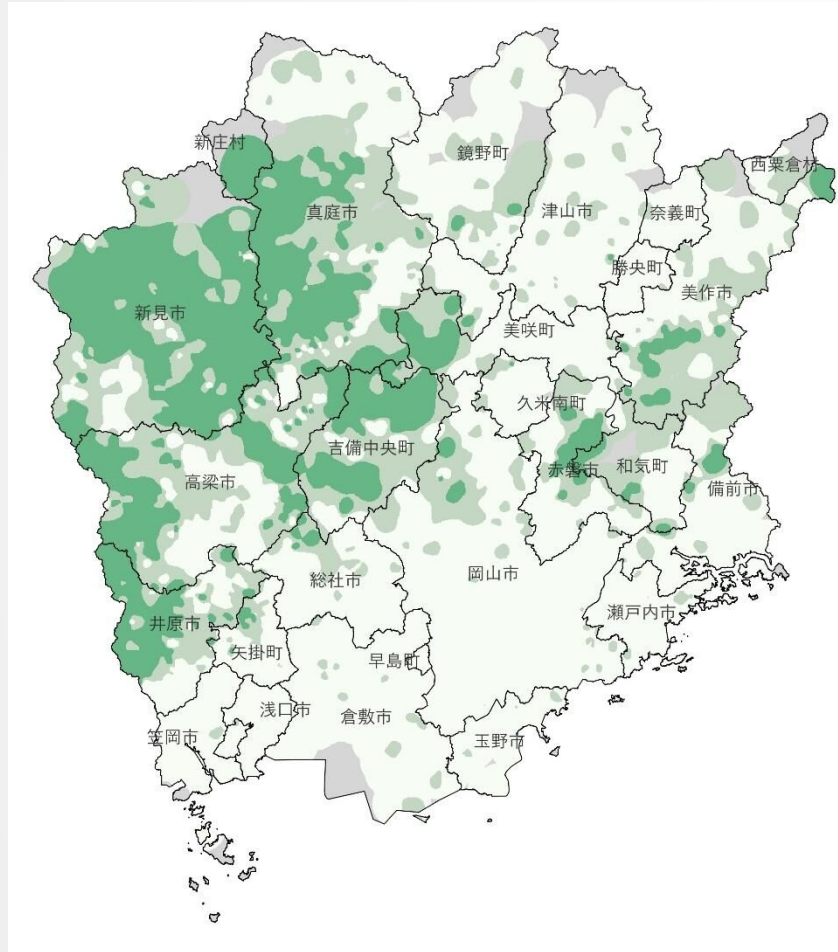
シカの対策 複合効果



■ 捕獲とあわせて防護柵（電気柵や金網柵など）を実施している地域の方が、捕獲のみ実施している地域よりも、対策効果が有効と回答している割合が大きい

ニホンザル

サルの生息状況

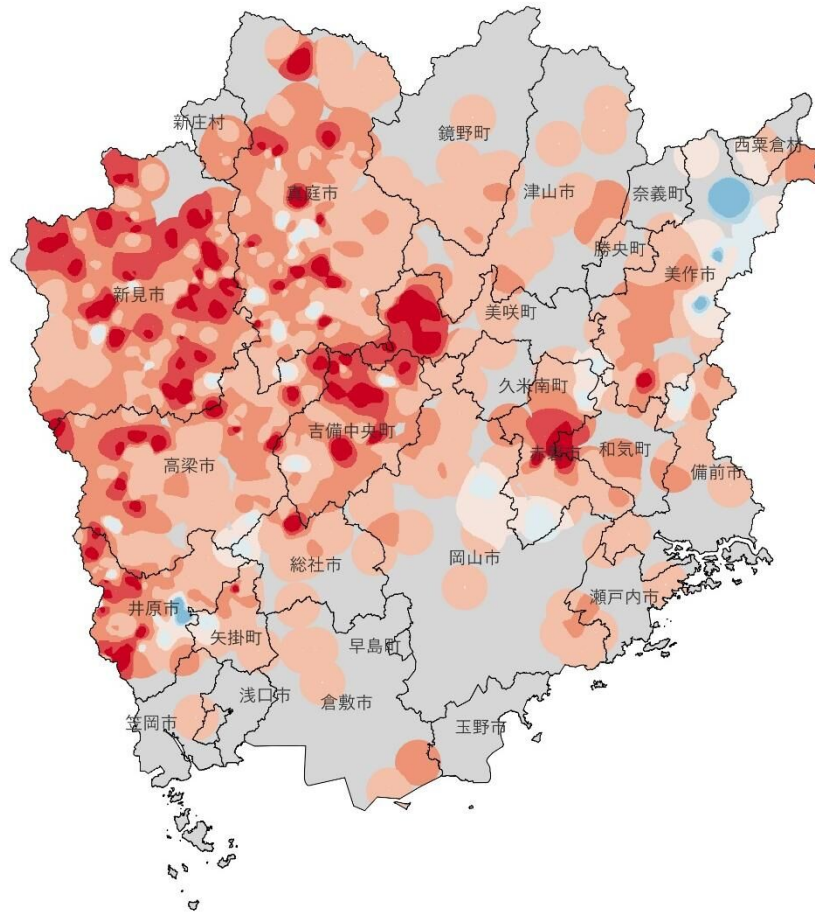


- ハナレザル（オスの分散個体）は県南部を除き県内に散見
- 群れが分布しているのは、真庭市、吉備中央町、井原市から西の県西部及び、赤磐市、美作市南部の県東央部



サルの生息数の増減

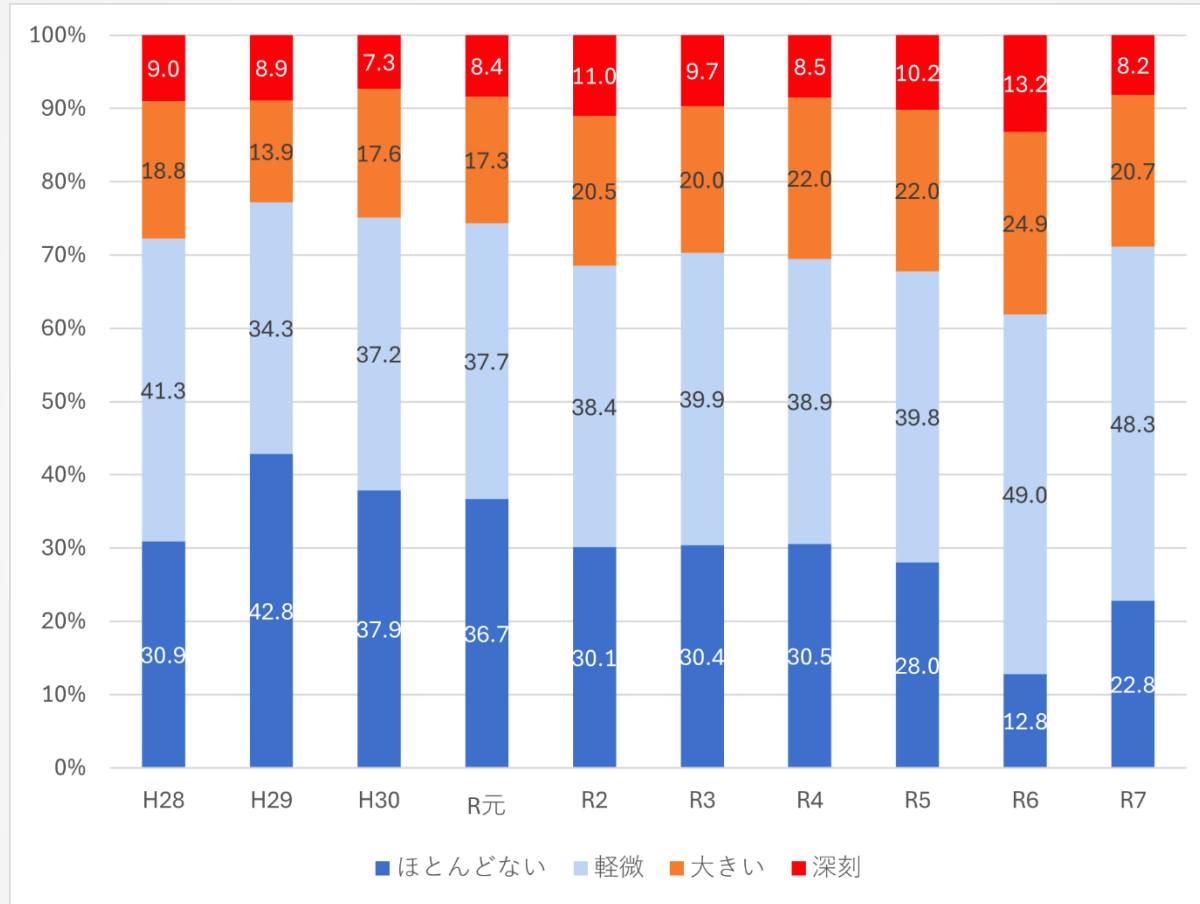
- サルの生息が確認されている地域では生息数が増加
- サルの数が減ったと回答した地域は美作市内においてごくわずかに確認
- 県内でのサルの生息数は増加



ニホンザルの数の増減

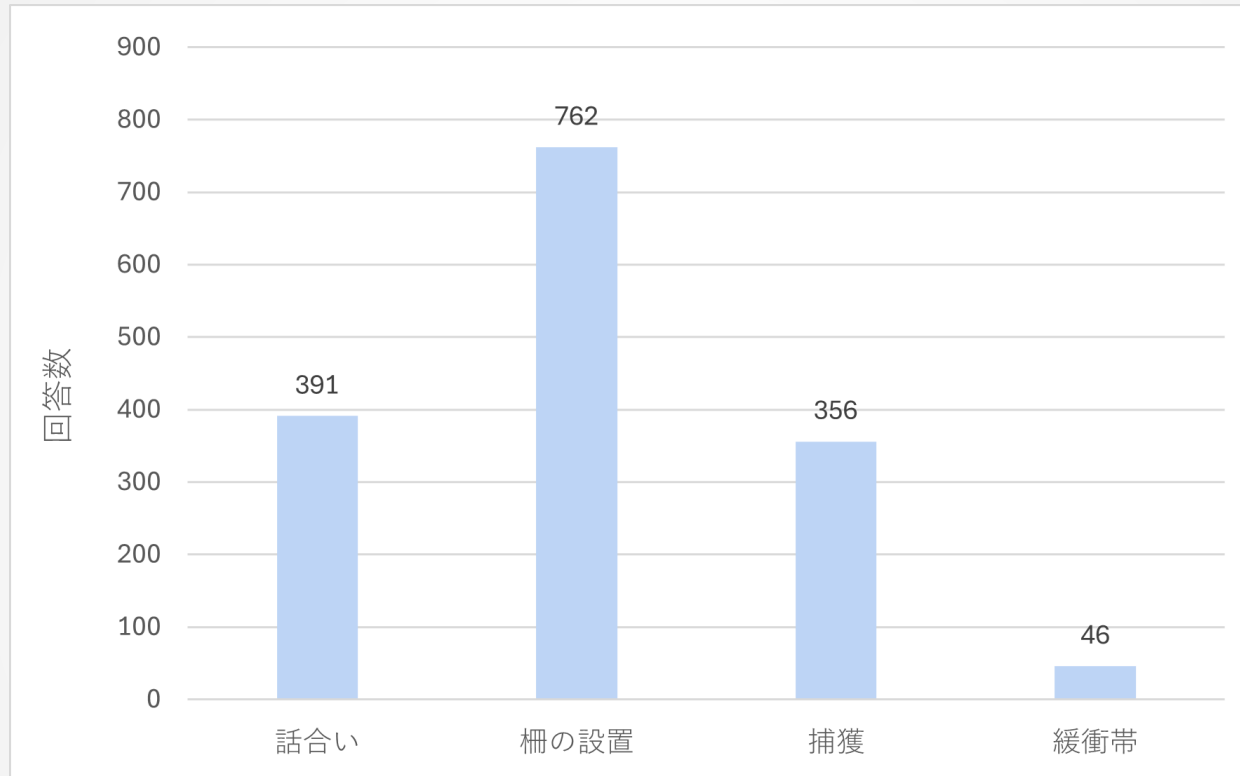
- 著しく減った
- 減少傾向
- 変わらない
- 増加傾向
- 著しく増えた
- 回答なし

サルの被害状況 年推移



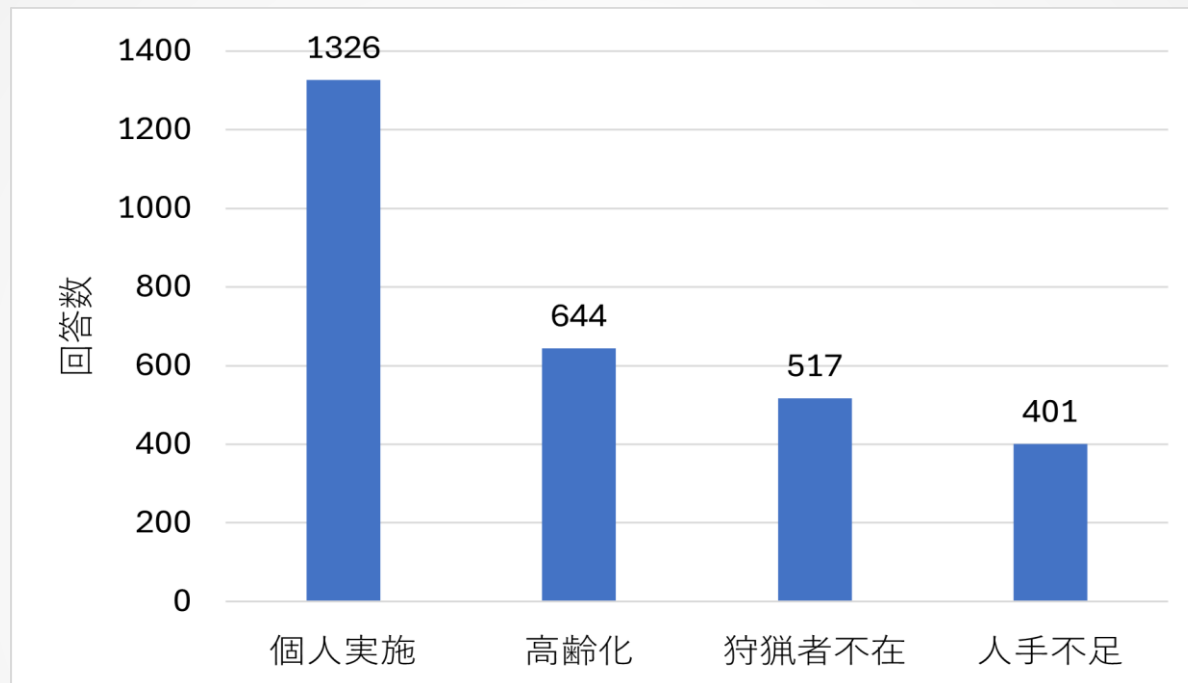
- 被害が甚大化したと回答した割合は、令和2年度以降3割程度であったが、令和6年度は4割弱へやや増加したが今年度は令和2年度以降の水準値に戻った

地域で実施している対策



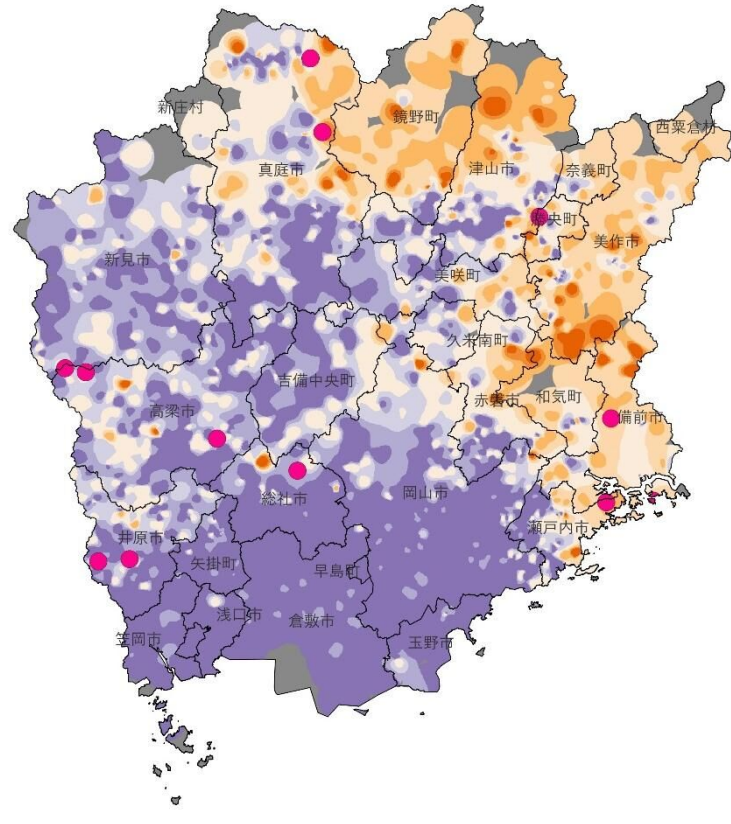
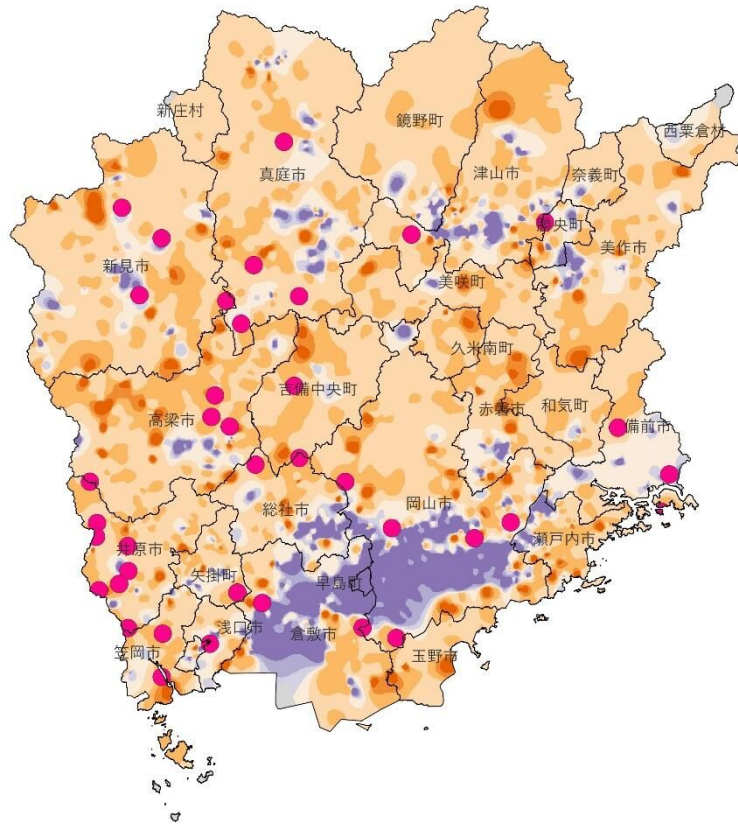
- 地域ぐるみでの対策は、全県31.0%(927/2,994件)の地域で実施
- 柵による対策実施地域は約8割 (762/927件) に対し、捕獲による対策実施地域は約4割弱 (365/927件)
- 昨年度と比較すると、捕獲による対策を実施した地域の割合が増えた (約1割から2割程度)

地域での対策ができない理由



- 被害対策を実施しても「被害は変わらない」と回答した地域においては、個々に状況を確認し、効果的な対策の実施が必要
- 集落での対策を実施していない地域において、その理由は「個人で実施しているから」が最も多く、次いで、「高齢化」と「狩猟者がいない」であった
- 特に今後捕獲者の減少が懸念される捕獲活動については、地域等住民が協力した体制をつくりながらの取り組みが不可欠

要対策地域



- 被害が甚大化（被害が「深刻」または「大きい」と回答）している地域のうち、対策を実施していない地域を示した
- イノシシでは38地域、シカでは12地域確認された
- これらの地域数は昨年度よりも減少（イノシシ47、シカ16）

ご清聴ありがとうございました